



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月14日

上場会社名 林兼産業株式会社
 コード番号 2286 URL <http://www.havashikane.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 熊山 忠和
 (氏名) 小野 康之

TEL 083-266-0210

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	21,448	△7.0	544	△5.2	626	7.5	396	△10.8
29年3月期第2四半期	23,055	△2.8	573	△2.2	582	4.7	444	43.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 378百万円 (△53.9%) 29年3月期第2四半期 821百万円 (101.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	44.51	—
29年3月期第2四半期	49.89	—

※当社は、平成28年10月1日付で株式併合(普通株式10株を1株に併合)を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	31,337		7,219			20.7
29年3月期	27,722		6,940			22.4

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 6,476百万円 29年3月期 6,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	10.00	10.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	1.7	860	△24.5	900	△18.1	700	0.9	78.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	8,910,000 株	29年3月期	8,910,000 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	7,033 株	29年3月期	6,913 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	8,903,038 株	29年3月期2Q	8,903,293 株

※当社は、平成28年10月1日付で株式併合(普通株式10株を1株に併合)を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く緩やかな回復基調で推移いたしました。食品業界におきましては、景気の先行き不透明感から消費者の購買意欲が低調に推移するなど、メーカー各社は厳しい経営環境に置かれました。

このような状況のなか、当社グループは前連結会計年度からの2ヵ年を「強化」の期間とし、「人財育成」および「基盤整備」を基本方針とする「第三次中期経営計画」（平成29年3月期～平成30年3月期）のもと、安定的な利益確保に向けて構造強化を図り、持続的な事業発展を目指してまいりました。

「人財育成」については、課題解決による能力向上をテーマに、人事評価制度の再構築や個々のスキルに合わせた従業員教育の充実などを通じて、能力開発や技術レベルの向上を図っております。また、「基盤整備」については、前計画の基本方針である「売上最大」「品質最高」「経費最小」に継続して取り組み、一層の強化に努めました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、魚肉ねり製品や機能性食品の売上増加があったものの、養魚用飼料の販売数量が減少したことなどにより214億48百万円（前年同期比7.0%減少）となりました。損益面におきましては、売上減少や豚肉相場が高値で推移したことによる仕入コストの増大などにより営業利益は5億44百万円（前年同期比5.2%減少）となりました。経常利益は営業外収支が改善したことにより6億26百万円（前年同期比7.5%増加）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は税金費用の増加により3億96百万円（前年同期比10.8%減少）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は、次のとおりです。

①水産食品事業

魚肉ねり製品におきましては、国内市場が縮小傾向にあるなか、海外への輸出量が増加したことなどにより、増収となりました。

機能性食品におきましては、機能性食品素材カツオエラスチンや高齢者向けソフト食「ソフミート」の販売数量が増加したことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は23億11百万円（前年同期比12.1%増加）、セグメント利益（営業利益）は1億84百万円（前年同期は16百万円の損失）となりました。

②畜産食品事業

ハム・ソーセージ等食肉加工品におきましては、OEM（相手先ブランド供給）製品の販売数量が減少したことにより、減収となりました。

肉類におきましては、豚肉の販売数量が増加したことにより、増収となりました。

調理食品におきましては、新規ルートの販売を開始したこともあり、増収となりました。

これらにより、売上高は97億60百万円（前年同期比1.3%増加）となりました。損益面におきましては、豚肉相場が高値で推移したことによる仕入コストの増大や物流費の上昇などにより、セグメント利益（営業利益）は1億24百万円（前年同期比44.2%減少）となりました。

③飼料事業

養魚用飼料におきましては、ブリやマダイの在池量減少などを背景に国内生産量が減少するなか、既存取引先への販売数量が減少したことにより、減収となりました。

水産物におきましては、鰻相場が下落したことなどにより、減収となりました。

畜産用飼料におきましては、ブロイラー用飼料の販売数量が減少したことにより、減収となりました。

これらにより、売上高は84億4百万円（前年同期比16.0%減少）、セグメント利益（営業利益）は7億1百万円（前年同期比12.3%減少）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は313億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億14百万円の増加となりました。

流動資産の増加（前連結会計年度末比29億83百万円増加）は、主に受取手形及び売掛金が30億39百万円増加したことなどによるものです。

固定資産の増加（前連結会計年度末比6億31百万円増加）は、主に破産更生債権等が6億90百万円増加したことなどによるものです。

（負債および純資産）

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は241億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億34百万円の増加となりました。

流動負債の増加（前連結会計年度末比32億79百万円増加）は、主に買掛金が21億4百万円、短期借入金が9億95百万円増加したことなどによるものです。

固定負債の増加（前連結会計年度末比55百万円増加）は、主にその他（リース債務）が57百万円増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は72億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億79百万円の増加となりました。これは主に配当金の支払いにより利益剰余金が89百万円、その他有価証券評価差額金が45百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益3億96百万円を計上したことなどによるものです。この結果、自己資本比率は20.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、財務活動によるキャッシュ・フローは増加したものの、営業活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フローの減少により、前連結会計年度末に比べ4億4百万円減少の16億86百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は6億58百万円（前年同期は3億48百万円の増加）となりました。これは主に仕入債務の増加が22億2百万円、税金等調整前四半期純利益の計上が6億8百万円あったものの、売上債権の増加が37億3百万円あったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は2億36百万円(前年同期は1億94百万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が2億37百万円あったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は4億92百万円(前年同期は3億7百万円の減少)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が7億67百万円あったものの、長期借入れによる収入が7億90百万円、短期借入金の純増加額が7億円あったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内景気の緩やかな回復が期待されるものの、食品業界においては消費者の節約志向が根強く、依然として厳しい経営環境が続くと予想されます。

こうしたなか、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は損益面において当初予想を上回る見込みとなったものの、今後の販売環境や原材料価格動向が不透明であることから、通期の連結業績予想については当初予想を据え置くことといたしました。

なお、今後経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,196,434	2,072,656
受取手形及び売掛金	4,286,486	7,325,997
商品及び製品	1,742,375	1,752,858
仕掛品	1,785,300	1,715,259
原材料及び貯蔵品	1,470,101	1,776,126
その他	388,512	239,286
貸倒引当金	△39,585	△69,046
流動資産合計	11,829,625	14,813,138
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,569,593	3,504,635
土地	4,198,093	4,198,093
その他(純額)	2,198,153	2,269,289
有形固定資産合計	9,965,840	9,972,018
無形固定資産	33,912	31,407
投資その他の資産		
投資有価証券	4,402,600	4,368,964
破産更生債権等	2,711,402	3,402,348
その他	283,238	262,304
貸倒引当金	△1,504,105	△1,513,138
投資その他の資産合計	5,893,135	6,520,478
固定資産合計	15,892,888	16,523,905
資産合計	27,722,513	31,337,044
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,170,100	4,274,846
短期借入金	8,685,664	9,681,460
未払法人税等	211,662	224,482
賞与引当金	284,105	310,842
その他	1,951,620	2,090,655
流動負債合計	13,303,153	16,582,287
固定負債		
長期借入金	3,537,741	3,564,661
退職給付に係る負債	1,944,548	1,943,200
事業整理損失引当金	99,597	99,597
資産除去債務	50,000	50,000
その他	1,847,252	1,877,486
固定負債合計	7,479,140	7,534,946
負債合計	20,782,293	24,117,234

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,415,020	3,415,020
資本剰余金	8,971	8,971
利益剰余金	1,562,700	1,869,926
自己株式	△7,105	△7,209
株主資本合計	4,979,586	5,286,709
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,294,996	1,249,965
繰延ヘッジ損益	△1,709	1,217
為替換算調整勘定	11,751	11,751
退職給付に係る調整累計額	△81,687	△73,318
その他の包括利益累計額合計	1,223,352	1,189,615
非支配株主持分	737,280	743,484
純資産合計	6,940,219	7,219,809
負債純資産合計	27,722,513	31,337,044

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	23,055,433	21,448,983
売上原価	19,473,840	17,931,593
売上総利益	3,581,593	3,517,389
販売費及び一般管理費	3,007,875	2,973,387
営業利益	573,717	544,002
営業外収益		
受取配当金	47,520	56,857
その他	107,133	142,376
営業外収益合計	154,653	199,234
営業外費用		
支払利息	122,846	103,185
その他	22,550	13,549
営業外費用合計	145,397	116,734
経常利益	582,974	626,502
特別利益		
固定資産売却益	83	158
特別利益合計	83	158
特別損失		
固定資産売却損	14,102	—
固定資産廃棄損	3,793	6,949
ゴルフ会員権評価損	—	11,300
特別損失合計	17,896	18,249
税金等調整前四半期純利益	565,161	608,411
法人税、住民税及び事業税	99,508	210,001
法人税等調整額	1,049	△9,761
法人税等合計	100,557	200,240
四半期純利益	464,603	408,170
非支配株主に帰属する四半期純利益	20,459	11,910
親会社株主に帰属する四半期純利益	444,144	396,260

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	464,603	408,170
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	340,629	△41,060
繰延ヘッジ損益	△361	2,926
退職給付に係る調整額	9,392	8,368
持分法適用会社に対する持分相当額	6,882	6
その他の包括利益合計	356,542	△29,758
四半期包括利益	821,146	378,412
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	777,503	362,523
非支配株主に係る四半期包括利益	43,642	15,888

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	565,161	608,411
減価償却費	361,684	381,730
持分法による投資損益(△は益)	△12,122	△26,734
有形固定資産売却損益(△は益)	14,018	△158
有形固定資産廃棄損	3,793	6,949
ゴルフ会員権評価損	—	11,300
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,646	38,495
賞与引当金の増減額(△は減少)	52,057	26,737
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△62,229	7,020
受取利息及び受取配当金	△50,197	△58,455
支払利息	122,846	103,185
為替差損益(△は益)	1,292	△5,674
売上債権の増減額(△は増加)	△1,726,321	△3,703,055
たな卸資産の増減額(△は増加)	507,184	△246,467
仕入債務の増減額(△は減少)	590,185	2,202,212
未払消費税等の増減額(△は減少)	131,588	△158,668
その他	10,590	379,966
小計	517,181	△433,205
利息及び配当金の受取額	53,241	63,222
利息の支払額	△122,887	△103,601
法人税等の支払額	△98,709	△184,792
営業活動によるキャッシュ・フロー	348,826	△658,376
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	△30,001
定期預金の払戻による収入	—	50,000
有形固定資産の取得による支出	△158,583	△237,611
有形固定資産の売却による収入	9,169	3,240
無形固定資産の取得による支出	—	△1,958
投資有価証券の取得による支出	△24,392	△2,455
投資有価証券の売却による収入	28	—
その他	△21,057	△17,427
投資活動によるキャッシュ・フロー	△194,836	△236,213
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△270,000	700,000
長期借入れによる収入	1,008,000	790,000
長期借入金の返済による支出	△944,552	△767,516
リース債務の返済による支出	△113,421	△131,849
配当金の支払額	—	△88,112
非支配株主への配当金の支払額	△11,174	△9,684
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	23,545	—
その他	△150	△103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△307,753	492,733
現金及び現金同等物に係る換算差額	△503	△2,155
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△154,267	△404,012
現金及び現金同等物の期首残高	1,415,375	2,090,358
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,261,107	1,686,346

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月26日 定時株主総会	普通株式	89,034	10.00	平成29年3月31日	平成29年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,061,802	9,633,668	10,005,456	21,700,926	1,354,506	23,055,433
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,943	99,988	795,054	897,985	173,101	1,071,087
計	2,064,745	9,733,656	10,800,510	22,598,912	1,527,608	24,126,521
セグメント利益又は損失 (△)	△16,528	223,414	800,109	1,006,996	106,617	1,113,613

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,006,996
「その他」の区分の利益	106,617
セグメント間取引消去	△5,413
全社費用(注)	△534,482
四半期連結損益計算書の営業利益	573,717

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,311,763	9,760,290	8,404,166	20,476,220	972,763	21,448,983
セグメント間の内部売上高 又は振替高	916	76,819	763,115	840,851	249,503	1,090,355
計	2,312,680	9,837,109	9,167,281	21,317,071	1,222,267	22,539,338
セグメント利益	184,273	124,755	701,523	1,010,553	66,200	1,076,753

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,010,553
「その他」の区分の利益	66,200
セグメント間取引消去	△1,544
全社費用(注)	△531,207
四半期連結損益計算書の営業利益	544,002

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。